

別科日本語教育課程 科目概要(必修科目)

■科目名:日本語(総合)

【科目の概要】 日本語能力別レベルに沿った総合テキストを使用して、4技能(読む・書く・聞く・話す)をバランス良く修得することを目指す授業です。

【授業の目的と到達目標】

レベル	【参考レベル】 JFスタンダード JLPT	目的と到達目標
初級	JFS : A1 JLPT:N5~N4	基本的な日本語力を身につけることを目的とします。 日常表現と基本的な言い回しを理解し、用いることができることを到達目標としています。
初中級	JFS : A2 JLPT:N4~N3	ごく日常的な場面においてやりとりするための基礎的な日本語力を確実に身につけることを目的とします。 身近で個人的な話題について、簡単な説明を理解し、短いことばで伝えることができることを到達目標としています。
中級	JFS : B1 JLPT:N3~N2	日常的な場面において使われる日本語力を確実に身につけることを目的とします。 身近な様々な話題について、まとまった内容を理解し、明確に意図を伝えることができることを到達目標としています。
中上級	JFS : B2 JLPT:N2~N1	大学や専門学校に進学する人にとって必要な日本語力を身につけることを目的とします。 幅広い場面で使われる日本語をある程度理解し、自分の考えや意見を伝えることができることを到達目標としています。
上級	JFS : C1 JLPT:N1 以上	大学院や大学に進学する人にとって必要な日本語力を確実に身につけることを目的とします。 専門的な分野や抽象的な話題について理解し、自分の考えや意見を明確に伝えることができることを到達目標としています。

■科目名:日本語(聴解・聴読解)

日本語能力レベルに即した聴解テキストを使用し、学習した語彙や文法項目を確認する練習やタスクを用いて様々なトピックの内容を正確に聴き取るといった練習をします。また、日本留学試験(EJU)や日本語能力試験(JLPT)の受験対策として、キーワードや話の流れから正答を導くという聴解のポイントについて学びます。さらに、聴き取った内容をノートにとる練習、会話や一定の長さの話聴いて内容を要約するといった、大学・大学院等で必要とされるアカデミックスキルを習得し、総合的な聴解力を身につけることを目指します。

■科目名:日本語(会話)

日常生活に必要な簡単な会話レベルから大学・大学院進学に必要なアカデミックスピーキングレベルまでの口頭表現力を養う授業です。レベルに応じた語彙や表現を身につけ、聞き手に伝わる話し方ができるようになることを目指します。日常的な場面で使われる基本的な口頭表現から始め、身近な話題について説明したり意見を述べたりする力を伸ばし、社会的なテーマや抽象的な話題、専門的な分野で論理的にディスカッションやプレゼンテーションをする力を修得します。

■科目名:日本語(作文)

日常的で身近な話題について自分の意見などを書くことができる初級レベルから、大学・大学院でレポート・小論文が書けるアカデミックライティングレベルまでの文章表現力を養う授業です。レベルに応じた語彙や表現、構文を身につけ、読み手に伝わる文章が書けるようになることを目指します。日常的な場面で使われる基本的な文章表現から始め、身近な話題について、わかりやすい構成でまとまりのある文章を書く力を伸ばし、社会的な話題や抽象的・専門的なテーマで論理的な文章を書く力を修得します。

■科目名:日本語(読解)

日常生活に必要な簡単な情報の読み取りを行う初級レベルから論文や専門書を読む上級レベルまでの読解力を養う授業です。特に日本語入門期から行われる多読授業(学習者の嗜好やレベルに合う読み物を多量に楽しみながら、インプット活動とアウトプット活動を繰り返し、日本語総合力を伸ばす意味重視型の授業)と、レベルに応じて日本留学試験・日本語能力試験などの読解問題を正確に解くストラテジーを身に付ける読解授業を並行して行って、短期間で大学進学・大学院進学に必要な日本語能力をスパイラル状に伸ばして修得します。

■科目名:日本事情

留学生が日本での生活を送るうえで必要な基礎知識(文化・習慣・社会問題など)を講義や様々な行事や活動を通して学ぶ授業です。日常生活で目にした日本の文化や社会的事象に注目し、自分の体験や母国の文化・社会との比較を通じ、自分なりの見方で、異文化としての日本や日本人についての理解を深めることを目的とします。季節ごとの年中行事や春季・秋季の研修旅行、伝統芸能鑑賞など、教室外での豊富な行事や活動から、異文化理解を深め、実際に体得していきます。

■科目名:クラスゼミ

別科生は入学直後から、日本語習熟度別のクラスゼミに入ります。クラス担任が、拓殖大学学部の学生有志からなる別科チュードント・アシスタント(以後、別科 SA)を交えてアクティブラーニング型授業を行います。別科 SA との交流や、様々な別科の行事、その事前・振り返り学習を通じ、日本の社会についてより深く学び、国境を越えて友達をつくりながら、充実した学生生活が送れます。また、クラス担任による学習・生活・進路などにかんする個別面談が随時行われ、きめ細やかなアドバイスやサポートを受けることができます。